



飯盛山出土の瓦経

第28回新収蔵品展

福岡の歴史とくらし

平成28年11月19日(土)～平成28年12月25日(日)

特別展示室 A

開催にあたって

福岡市博物館は、昭和五八（一九八三）年に博物館建設準備室を発足して以来、多くの方々のご協力のもと、博物館資料の収集を行い、考古・歴史・民俗・美術の各分野にわたる収集資料は、一四万件以上にのぼります。

新しく収集した資料は、二年にわたって整理と調査を行いリストを作成し、収集年度ごとに『収蔵品目録』を刊行しています。また、博物館の資料収集活動の成果を広く市民の皆様を知っていただくため、毎年、「新収蔵品展」を開催し、新たに収集した資料をご覧いただける機会を設けております。

第二八回目を迎えた今回は、平成二五年度にご寄贈いただいた二三五四件の資料の中から、「ふくおかの歴史とくらし」に関わる注目すべき選りすぐりの資料三〇〇点余りを展示いたします。

一、大昔の福岡

福岡の歴史のはじまり、最も古い人々のくらしの痕跡は約三万年前の旧石器時代までさかのぼります。氷期に当たったため今よりも陸地は広く、九州と大陸のへだたりはずっと狭いもので、人々や動物が行き来していました。今回紹介するナウマン象（の化石）は絶滅動物ですが、この時代の代表的な大型獣で、狩猟対象でもありました。市内では今のところ唯一のナウマン象化石になります。

古代・中世は鴻臚館や博多にわが国の外交や交易の拠点が置かれ、国際貿易都



筑紫丘高等学校資料／老司(南区)の那珂川で採集されたナンマン象上顎の臼歯です。

市へと発展していきます。近郊には貿易都市を支える宗教施設なども盛んに営まれました。今回紹介するこの時代の資料は約九〇〇年前、飯盛山頂に埋納された数百枚におよぶ瓦経の一枚で、法華経を刻んだ粘土板です。現存する飯盛山瓦経は多くが破片で全国に散在しており、本品のような完全な形のは貴重です。

二、福岡藩誕生の頃

慶長五（一六〇〇）年、筑前国の領主となつた黒田長政は小早川秀秋の居城であつた名島城（東区）に入りますが、翌年から福岡城（中央区）とその城下町をつくりはじめ、現在の福岡市の礎となりました。この地を「福岡」と呼ぶようになるのもこの時代からで、黒田家ゆかりの地名に由来しています。

今回この時代に関わる資料として、名島城絵図や、黒田如水・長政の書状といった、福岡藩誕生の前後の貴重な史料を展示します。

三、近世のくらしと美術

戦国時代の戦乱から復興した商業都市博多と、新興の城下町福岡の「双子都市」を抱える福岡藩は西日本有数の藩として、経済、産業や、学問などが発展します。

今回は福岡藩士の家に伝来した品や記録類のほか、当時の思想や学問、芸術などに関わる多様な資料が集まりました。江戸時代に営まれていた郷土の豊かな文化にご注目ください。



名島城絵図／城郭が立体的に描かれた名島城の貴重な絵図です。



下澤義一資料／福岡藩2代藩主、黒田忠之所用の刀で、美濃の刀工、氏貞の作です。

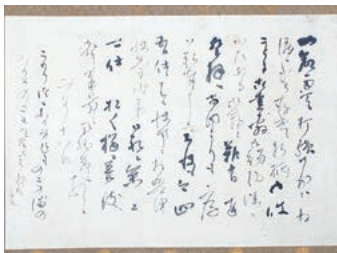


村田邦夫資料／福岡藩士であった村田家に伝来した脇差です。

二宮健資料／幕末の福岡藩重臣、杉山鶴心(尚行)の日記です。



内海一雄資料／江戸後期の博多の本草学者、内海蘭溪が残した記録です。



戸川ユキ資料／幕末の福岡を代表する歌人、大隈言道の書簡や和歌などからなる資料群です。



光吉正邦資料／近世福岡の陶工、正木宗七が制作した阿吽一對の癒見面です(12月18日まで企画展示室1「幻のやきもの宗七焼」展示)。



坂本幸子資料／秋月藩初代藩主黒田長興の和歌短冊です。

福山恵美子資料／萩藩御用絵師の雲谷等潤作の極楽浄土図とその由来記です。



奥村忠夫資料／博多の商家、奥村家に伝来した近世から近現代の資料群です。福岡大空襲の被害を伝えるものもあります。写真は玄洋社社員頭山満の書が彫られた「観雲荘」の扁額です。



江頭重利資料／明治期に織物を生産した紡績会社厚生舎に関する記録などの近代資料群です。



鳥越雅美資料／福岡の園田家に伝来した出納帳など、商家の経営や土地所有に関する文書類です。



戸川英幸資料／軍歌レコードセットやソノシートのコレクションです。



田中鉄也資料／福岡市内の名所写真が印刷された絵葉書のコレクションです。



池田善朗資料／昭和20～50年代の鉄道乗車券類のコレクションです。



平山マサ子資料／昭和17(1942)年に発行された福岡市の地図です。戦時代の福岡市を知る貴重な資料です。

四、近現代のくらし
明治三二(一八八九)年に誕生した福岡市の人口は五万人余りでしたが、その後、近隣町村との合併や都市化により、現在、一五五万人を超える人口を抱える大都市に発展しました。
今回もそうした近現代の福岡市の発展を支えた人々のくらしを物語る資料を数多くご寄贈いただいております。



都地國太郎資料／西区
いまじやくかみのほろ としほくじょう
今宿上ノ原の都地牧場で使
用された酪農道具です。



石野昭資料／大正期の
呉海軍工廠に勤めていた石野
栄二氏に宛てられた勲章と辞
令です。



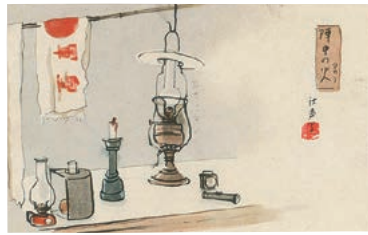
岡玲子資料／昭和時代に
使用された襟巻きや着物
などの資料群です。



九州エネルギー館資料／
江戸時代から昭和時代の灯火具や電化製品のコレクションです。



高橋よし子資料／昭和戦時期の
資料で、寄せ書き入りの日の丸
旗と遺留品を収めていた麻袋で
す。



前田満子資料／昭和戦前期の絵葉
書と華道免状からなる資料群です。
絵葉書には従軍画家の作品などが
あります。



松本法泉資料／中国戦線で
自動車部隊として従軍した
将校の所持品や記録類から
なる資料群です。



樋口泰助資料／
福岡大空襲時に投下され
た焼夷弾しょういだんの部品です。



中尾英樹資料／明治時代から続く
博多張り子の製造元・中尾俊雄商
店で使用されてきた型です。



堀田茂治資料／
はまさきぎおんやまがさ
浜崎祇園山笠の人形
師、堀田豊治氏が所
蔵していた人形や製
作道具です。



仏師城戸家関係資料／博多織の
煙草入れおよび根付です。



井上清方資料／博多人形師の小島与一作の童子人形や
いのうえせいすけちれきにんぎょう
井上清助地歴人形の写真などからなる資料群です。



長澤宏昭資料／博多松
囃子の祝儀(一束一本)
と結納品の目録です。



内田改造資料／大正
から現代の博多の写
真やスケッチです。



いなりや資料／博多祇園山
笠渡辺通一丁目の前身、南流
の当番法被です。



博多町人文化連盟
資料／博多町人文
化勲章です。

五、戦争の時代
近代のくらしを伝える寄贈資料の中か
ら昭和の戦争に関わる資料を紹介しま
す。福岡市は昭和二〇(一九四五)年六
月一九日深夜から翌未明の空襲(福岡大
空襲)で甚大な被害を被りました。その
ときの焼夷弾のほか、戦時中の暮らしを
伝える絵葉書や、中国戦線に従軍した将
校の所持品や記録類などを展示します。

六、祭りと祝い
お祭り好きと言われる博多や福岡の人々。その近現代のくらしを伝える資料の中には郷土の祭りや祝い事などに関するものが少なくありません。ここでは近現代の博多の暮らしぶりを伝える風俗図屏風や写真資料のほか、祭りや祝い事で使用された品々、また、それを作るための道具などを紹介します。



川鍋正雄資料／博多の川鍋家に伝来した屏風や生活道具からなる資料群です。写真は近代の博多絵師、吉村百耕が描いた博多風俗図屏風です。



橋本猛資料／プロ野球解説者の小西得郎と中澤不二雄のサイン色紙です。



江島康博資料／西鉄ライオンズ黄金時代の選手14人のサインが寄せ書きされた色紙です。

七、西鉄ライオンズ
戦後の高度経済成長期に入る頃、福岡の街は日本シリーズ三連覇を成し遂げた西鉄ライオンズの活躍に沸きました。福岡の人々にとって西鉄ライオンズは昭和史を語るうえで欠かせない存在です。当館では常設展示のリニューアルで特別コーナーを設け、ユニフォームの複製品などを制作しました。そして、これを引きかっけに関連資料を多数ご寄贈いただきました。今回は選手ゆかりの記念品やユニフォーム類、サイン色紙などを展示します。



中村ケイ子資料／西鉄ライオンズ選手のサインが寄せ書き状に印刷された風呂敷です。



玉造陽二資料／西鉄ライオンズの玉造陽二選手が使用したユニフォーム類です。写真は寄贈者が選手時代に島原キャンプで愛用したウインドブレーカー。



豊田泰光資料／西鉄ライオンズの豊田泰光選手が受賞したトロフィーやペナントなどの記念品です。

おわりに

最後になりましたが、本展の開催にあたり、貴重な資料をご提供下さいました皆様に厚く御礼を申し上げます。

また、この展覧会を通して市民の皆様には郷土の歴史と人々のくらしについて一層の関心を寄せていただくとともに、福岡市博物館の資料収集活動にさらなるご理解とご協力をいただければ幸いです。

ご協力頂いた方々（五十音順、敬称略）

池田善朗、石蔵酒造株式会社、石野昭、井上徳世、今林晋吉、内海一雄、江頭重利、江島康博、岡玲子、奥村忠夫、川鍋正雄、九州電力株式会社、久我純一、古賀直樹、古賀正子、小林孝、坂本幸子、島田芙美子、下川良子、下澤義一、高橋よし子、田中鉄也、玉造陽二、筑紫丘高等学校、戸川英幸、都地國太郎、豊田泰光、鳥飼八幡宮、鳥越雅美、中尾英樹、長澤宏昭、中西広祐、中野菅子、中村ケイ子、二宮健、博多高砂連、博多町人文化連盟、宮崎宮、橋本猛、波多野聖雄、早魚行事保存会、樋口泰助、平山四郎、福山恵美子、堀田茂治、前田満子、松本春枝、光吉光代、向井道子、村田邦夫

福岡市博物館

〒八四一〇〇〇一

福岡市早良区百道浜三丁目一番一号

☎〇九二一八四五―五〇一一